

平成25年度事業計画

平成25年度は、当協会にとりましては公益財団法人へ移行した初年度であり、新たな一步を踏み出す記念すべき年です。

観光は、旅行、宿泊、交通、小売など、様々な産業への経済波及効果のある裾野の広い総合産業であり、次世代成長産業として期待されていることから、県内でも観光を核とした地域活性化に取り組む自治体が増えています。

本県では、平成26年度には「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録や北陸新幹線金沢開業が予定されています。首都圏のみならず北陸新幹線や上越新幹線、更には十字軸を形成している高速道路沿線地域からの誘客宣伝活動が、これまでも増して重要となっています。

このため、ググっとぐんま観光宣伝推進協議会と連携して、一昨年夏の「群馬DC」、昨年夏の「ググっとぐんま観光キャンペーン」から続く官民一体となった取り組みを継続しつつ、秋には「ググっとぐんま観光キャンペーン」を重点的に展開するとともに、マスメディアとタイアップした四季を通じた本県観光の魅力発信やエージェンツセールスを強化し、更なる誘客促進に努めてまいります。海外からの誘客については、県と連携して、台湾、中国、韓国など東アジアを中心に、引き続き教育旅行の誘致に努めるとともに、現地旅行会社やマスコミ等に農業体験、温泉体験、食体験、工芸体験、歴史体験など本県観光の魅力を売り込む機会を増やし、旅行商品造成を働きかけます。

また、物産振興については、県や地域物産振興協会と連携して、地域に埋もれている魅力ある商品の発掘に努めるとともに、県内外での物産展に積極的に参加して販売促進を図ります。東銀座にあるアンテナショップ「ぐんまちゃん家」では、4月2日に新歌舞伎座がオープンすることから、本県物産を代表する魅力ある商品を揃えて顧客満足度を高めるとともに、大幅な売り上げ増をめざします。

さらに、国際化対応としては、社会の様々な分野で国際化の進展が著しい今日、本県のもつ人材、自然、歴史、文化、産業など豊富なポテンシャルを活かしながら、多面的・重層的な対応が求められていることから、県や市町村国際交流協会をはじめ、大学、専門学校、企業などと連携して、多文化共生社会の実現と国際交流・国際協力の促進に努めてまいります。

以上のような観光振興、物産振興、国際化対応の取り組みを着実かつ一体的に推進するため、当協会の組織については、これまでのグループ制から部制に改め、より専門性を高めるとともに、各セクション間の連携を強化した組織運営を図ることとします。

国際化推進事業

1 多文化共生支援事業 8,813千円

県内全域を対象とした情報の収集・発信と多言語コミュニケーション支援、日本語学習支援を軸として、多文化共生社会へ向けた地域づくりを目指す。

(1) 「多言語インフォメーション・センター」の運営 6,954千円

総合相談機能を有する多言語インフォメーションセンターにおいて、4カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語)で、多文化共生と国際交流・協力、国際観光の推進に資する通訳、翻訳、相談を実施する。

(2) 外国人のための法律相談 509千円

在住外国人からの各種相談に対し、5カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語)により、専門的内容を含めた広範な情報提供を行うとともに、弁護士、行政書士、社会保険労務士による無料相談会を市町村と連携し実施する。

(3) 外国人相談実務者のための研修 28千円

外国人相談業務に携わる実務者を対象に、相談対応における基礎や最新の制度改正等についての知識を深めるとともに、他の相談機関との連携や相談員同士のネットワーク構築等を目的とした研修を実施する。

(4) 多言語サイト「All Around Gunma」の運営 494千円

外国人を対象とした県内の生活・観光情報や、県民へ向けた国際交流・協力に関する情報を収集し提供する多言語サイトを5カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、日本語)で運営する。

(5) 多言語メールマガジン発行 315千円

多言語サイトと連動し、県内の生活・観光情報等を4カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語)で発信する多言語メールマガジンを月刊で発行する。

(6) 外国語情報誌「THE GUNMA GUIDE」発行 324千円

在住外国人を対象に県内の生活・観光情報、各国際交流団体等の情報を掲載した多言語情報誌を4カ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語)で隔月発行する。

(7) 日本語学習支援事業 189千円

在住外国人の日本語学習を支援するボランティア養成を目的とし、日本語学習支援のための基礎的な知識を習得する講座を開催する。

2 国際交流・協力推進事業 534千円

人材育成とコーディネート機能を軸として、県内の国際交流・協力活動の活性化を図るとともに、県民が参画する国際交流・協力活動の促進へ向けた環境整備を行う。

(1) 国際交流ボランティア人材バンクの運営/育成事業 36千円

6種類のボランティア(通訳・翻訳/ホームステイ/日本文化紹介/海外事情紹介/日本語支援/イベント協力)を登録し、県や市町村、公共団体の依頼に応じて紹介と派遣を行うとともに、ボランティアの育成・ネットワーク構築を目的とした研修会を実施する。

(2) ぐんま観光体験ツアー 269千円

在住外国人と地域住民との交流や観光促進を目的とした、県内の日本文化・自然を体験するバスツアーを実施する。

(3) 国際交流団体等連携事業 35千円

県内各市町村国際交流協会等との相互連携を深め、共通する課題に対する研修及び情報共有を行う連絡会議を開催する。

(4) 国際交流・協力活動促進イベント 89千円

国際交流・協力団体活動の周知と活動活性化を図るため、市町村等と連携し、県民へ向けた意識啓発と参加促進を図るイベントを開催する。

(5) 国際交流・協力団体活動調査

県内の各種国際交流・協力団体の構成、活動状況等の調査を行い、協会ホームページ上で公開し、県民への周知を図る。

(6) 国際理解推進事業 105千円

国際理解教育・国際協力に関する参加型セミナーや県内スタディーツアー等をJICAと連携し開催することにより、世界や地域の課題に目を向け、国際的な市民活動の活性化を図る。

3 外国人未払医療費対策事業 6,536千円

外国人を診療したが、受け取るべき医療費を回収できないでいる医療機関に、その医療費の一部を補填する。

観光推進事業

1 観光情報事業 902千円

情報システムの構築を図り、群馬県の観光を発信する事業として、インターネットおよびメールの維持管理およびホームページから観光情報の発信・更新を行い、生の群馬の情報をリアルタイムに伝えることにより、群馬県への誘客促進と認知度・イメージアップを向上を図る。

2 宣伝事業 27,057千円

(1) パブリシティ活用観光宣伝事業 5,214千円

ラジオ・テレビ宣伝 3,507千円

群馬県内各市町村観光担当課や観光協会等に持ち回りで、番組に出演、観光素材やイベントなどの宣伝PRを実施するとともに、実際に具体的な集客に繋げるため、電波媒体マスメディアを活用し、群馬県への誘客促進と各地域の認知度・イメージアップの向上を図り、更なる来客数増員に資する。

【ラジオ宣伝】

県内各地域の観光素材やイベントなどを首都圏及び地元の旅行嗜好者潜在掘り起こしを目的としてラジオ番組放送で誘客宣伝と各地域の認知度アップを図るために実施する。

ラジオ放送実施先：エフエム群馬 放送回数：52回（毎週金曜日）

【テレビ宣伝】

県内各地域の観光素材やイベントなどをテレビCM放送で誘客宣伝し、来客と各地域の認知度アップを図るために実施する。

新聞・雑誌宣伝 447千円

県内各地域を始め、観光素材やイベントなどを紙媒体マスメディア（上毛新聞・観光経済新聞・旅行新聞・旅の手帖など）の純広告や記事広告等により、広告掲載宣伝を実施し、群馬県への誘客促進と各地域の認知度・イメージアップの向上を図る。

ウィンターキャンペーン 1,260千円

群馬県のスキー客は、首都圏が多く、主に自家用車にて来県いたします。そこで群馬県スキー場経営者協会と共同で、首都圏の聴聴率の高いFM局（NACK5）で、群馬県のスキー場の特色（近い・雪質がいい、温泉が近い等）をPRし、スキー客の誘客促進を図る。

また、北関東道自動車道沿線の誘客対策としてラジオFM栃木を活用し、スキー客の新規開拓を図る。

より強いインパクトにするため「コーナー番組」の設置

- ・DJとの掛け合いによる情報提供
- ・スキー場関係者およびスノーQueenとの電話取材
- ・リスナープレゼントによる効果を図る。

(2) 首都圏誘客宣伝事業 10,000千円

首都圏を中心とする在住・在勤者等に対し、群馬県への誘客促進とイメージアップの向上を図り、更なる来客数増員に資するため、各種メディアを活用するとともに、群馬県への誘客宣伝を実施するとともに、宣伝事業の効果検証を実施し、誘客促進の対策に

活用する。

宣伝事業

県内各地域の観光素材やイベントなどを首都圏の旅行嗜好者潜在掘り起こしや誘客促進とイメージアップの向上を目的として、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・WEBなどの各種メディアを活用し、群馬県への誘客促進とイメージアップの向上を図るために実施する。

効果検証・実績調査事業

各種メディアを活用し実施した宣伝に対し、実績調査及び効果検証を実施し、今後の宣伝方法等の補完に活用する。

(3) 北関東道沿線キャンペーン事業 900千円

北関東自動車道誘客対策として、茨城県において観光キャンペーンを春季と冬季の2回にわたり実施する。

マスコミ対策

ぐんまちゃんと参加団体のキャンペーンレディと訪問し、PRする。

企画商品の紹介

実際に誘客していただくために、企画商品の紹介を実施する。

観光展

集客力の多いイオンモールにおいて、ポスター・パンフレットおよび参加団体のキャンペーンを実施する。

(4) SA・PA観光PR 283千円

自家用車・観光バス等を利用する観光客を対象に、群馬県のPRをするため高速道路サービスエリアを利用し観光展を実施する。

開催場所 東北道佐野SA(下り)

開催時期 7月中旬(夏休み前)または9月中旬(秋の行楽シーズン前)

開催内容 市町村等の単独キャラバン、観光パンフレットの配布

(5) 日本観光振興協会関東支部観光展 450千円

大消費地等で開催される日本観光振興協会関東支部主催の観光展に参加出展することにより、広範囲な旅行嗜好潜在者の掘り起こしと群馬県内各地域の観光宣伝、具体的な誘客、認知度・イメージアップの向上を図る。

【日本観光振興協会主催の観光展】

「夏の海と山の旅観光展」6月下旬 大宮(予定)

「冬の旅・早春の旅観光展」11月上旬 横浜(予定)

(6) 観光素材宣伝 3,760千円

群馬県内各地域とタイアップし観光素材の掘り起こしを行い、観光素材宣伝PRを実施するとともに、県内各地域への誘客に繋げるためモデルコースを策定し誘客促進と認知度・イメージ向上を図る。

【パンフレットの制作】

タイアップ先：県内全市町村観光担当課及び観光協会等

県内各地域から掘り起こした旬の観光素材を盛り込んだモデルコース提案を受け、パンフレットに取りまとめ配布する。

モデルコースの制作に当たっては、秋季、冬季、春季の3シーズンの素材とする。

当該モデルコースの旅行者向けのPR用のパンフレットを作成し、各地域への旅行商品造成を促す。

東武鉄道（株）の協力を得て、首都圏等からの誘客に繋げるため、東部エリア版パンフレットを制作のうえ、東武鉄道主要駅等における配布を実施する。

（7）人材育成講習（観光まちづくりリーダー養成） 450千円

観光は発地型から着地型に移行しつつあるが、着地型のメニューを造成し、受け入れ態勢を整備するために、観光事業者だけでなく地域住民などを巻き込んだ観光振興を図っていく必要があり、その先導役となるリーダーの存在が欠かせない。

また、インバウンドといった、難度の高い課題にチャレンジするためにも、知識と経験に優れ、地域を引っ張る存在が必要である。

こうしたことから、従来の枠にとらわれず、新しい発想で観光振興に取り組み、地域をまとめることのできるリーダー的人材を養成する必要がある。

（8）エージェント重点販売キャンペーン支援対策 5,000千円

群馬県内の観光地、または物産品を紹介する広告宣伝や、県内を含めた旅行商品の販売企画、県内誘客が見込まれると判断できるキャンペーン等の企画について支援を行う。

（9）緊急対策 1,000千円

観光振興に関し、緊急的な対策を講じる必要な事態に対応するための事業を行う。

3 海外誘客対策 800千円

群馬県と連携し、群馬県及び群馬の観光の認知度向上に努め、海外からの訪日客の本県への誘客を図る。

（1）海外観光展参加 200千円

台北国際旅行博ITF（11月）参加。

旅行博での商談会に参加し、一般団体を誘客を図る。また、台湾滞在中に学校訪問を実施し、教育旅行学生を誘客を図る。

（2）海外誘客対策 600千円

国内で開催される旅行会社との商談会参加。

- ・日台教育交流座談会（9月）
- ・トラベルマート商談会（11月）
- ・日中教育旅行商談会（3月）

台湾へ教育旅行誘致（6月・12月）

中国上海事務所開設出席
温泉地活性化（片品村・みなかみ町・渋川市と連携）で、台湾へ教育旅行・一般団体・スキー旅行で誘致。

4 地域連携 3,241千円

(1) 観光振興助成 3,241千円

協会の会員が実施する地域全体の観光振興に寄与する新規事業、先駆的事业または記念事業に対し、助成を行う。

5 負担金・拠出金等

(1) 日本観光振興協会負担金 1,500千円

(2) ググッとぐんま観光宣伝推進協議会負担 18,000千円

群馬県、市町村、観光関連団体等が協力し、全国から本県への誘客を図ることを目的としたググッとぐんま観光宣伝推進協議会事業へ負担します。

6 高崎観光案内所運営委託 6,028千円

高崎駅構内のビジターセンターにおいて高崎駅観光案内所（i案内所を兼ねる。）の運営を行う。

7 緊急雇用事業（委託事業） 65,964千円

(1) 群馬の観光情報収集発信事業（緊急雇用） 42,814千円

緊急雇用対策事業として、人材を雇用しぐんま観光案内所（上里SA下り）の運営、各観光スポットにおける観光案内の動画撮影、各種イベント等におけるPRを行う。

(2) 世界遺産候補4資産観光客サポート事業（緊急雇用） 23,154千円

緊急雇用対策事業として、世界遺産登録を目指す4資産を中心とした、観光客の案内、情報収集等を行う。

物産振興事業

会員を中心とした県産品の販路の新規開拓と品質向上を推進し、群馬県物産の普及啓発

を図るため、物産展等の開催に加えて地域物産振興団体等との連携を強化し、次の事業を実施し、併せて「ぐんまちゃん家」の管理運営を受託する。

1 県内物産の紹介宣伝及び販路の拡大に関する事業 3,180千円

(1) 物産振興助成事業 800千円

各地域物産振興協会が中心となって開催する地域の物産展、新しい特産品掘り起こしのための展示即売会等の物産振興事業に対して、予算の範囲内で助成を行う。

関係機関の主催する展示即売会、物産展等の物産振興事業に対して、後援や協力をを行う。

(2) 県内物産カタログの作成及び配布 2,300千円

県内物産のPR及び通信販売等目的に名産品カタログ「ぐんまの逸品」を作成し、物産展、観光展等をはじめとするイベントを中心に幅広く配布する。

(3) 県内物産のインターネットホームページ運営 80千円

時代のニーズに合わせ、物産カタログと併行してインターネット上に開設したホームページ「ぐんまの逸品」の運営と拡充を図る。

2 市場動向等の調査研究に関する事業 550千円

(1) 関係機関との連携強化及び情報収集の推進 300千円

各地域物産振興協会、市町村等の関係機関との連携を強化し、新しい特産品に関する情報を中心として、物産関連情報の収集及び情報提供を積極的に推進する。

(2) 組織の拡充強化 250千円

会員の加入を促進するとともに、県・市町村と協力し、各地域物産振興協会の広域化等、その育成強化を推進する。

3 品質及びデザインの向上促進及び指導に関する事業

(1) 群馬県優良県産品推奨に対する協力 310千円

県内における推奨優良品調査の実施を行うとともに、推奨シールの普及及び販売を促進する。

4 物産展開催等事業 21,312千円

本県物産の紹介・宣伝及び販路拡張を図るため、県及び関係団体と連携・協議しながら各種物産展等を開催する。

5 ぐんまちゃん家管理運営事業 124,893千円

群馬県から、ぐんまちゃん家の管理運営を受託し、群馬県の観光宣伝及び群馬県産品のPRを行うとともに、群馬県産品等の販売を行う。

(1) 群馬県産品販売等(96,485千円)

(2) 管理運営委託 (8,300千円)

(3) ぐんまちゃん家コンシェルジュ事業 (緊急雇用対策事業) (20,108千円)

旅行業事業 12,800千円

宿泊客を含めた誘客を促進するため、本協会本部、高崎、東京の案内所を中心に宿泊斡旋等を行う。

また、旅行業関連の事業にも積極的に取り組み、主催旅行、手配旅行の請負等を行うとともに、群馬県庁内の旅行コーナーにおいて、旅行商品の代理販売等を行う。

観光施設事業 9,000千円

県立赤城公園内、榛名公園内において観光施設 (厚生文教団地等、オートキャンプ場) の管理運営を行います。

財団の運営

1 理事会、評議員会の開催

事業計画、予算、その他の重要事項等について審議を行うため、理事会、評議員会を6月、3月に行う。また、必要に応じ臨時会を開催する。

2 公益財団法人への移行

平成25年4月1日より新たに公益財団法人への移行し、名称を公益財団法人群馬県観光物産国際協会に変更する。